こよみ

コールセンターからの小さなよみもの

2019年12月27日

Vol 131

資産運用の「継続は力なり」!?
コツコツ続ける積立投資の魅力

12月の日経平均株価は上昇基調にあり、13日には終値で1年2ヵ月ぶりに24,000円台を回復しました。その背景には、米中貿易交渉が「第1段階の合意」に達したことや、英国の合意なきEU離脱懸念が後退したことなどから、世界景気に対する前向きな見方が拡がったことがあるようです。

株価が大きく上昇した際には、お客様から「今が売り時なのか」あるいは「今が買い時なのか」といった売り買いのタイミングに関するお問合せを頂くことがあります。

誰もが底値で買って高値で売却できればよいですが、最良のタイミングで売り買いするのは、たとえ資産運用のプロであっても至難の業です。

そこで、長期の資産形成の手法の1つとして、売り買いのタイミングを気にすることなく毎月一定額を積み立てる「積立投資」の魅力についてお伝えしたいと思います。大切なことは「途中でやめないこと」と「覚悟をもって本気の積立を始めること」です。

当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託の仕組みについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

こよみ

コールセンターからの小さなよみもの

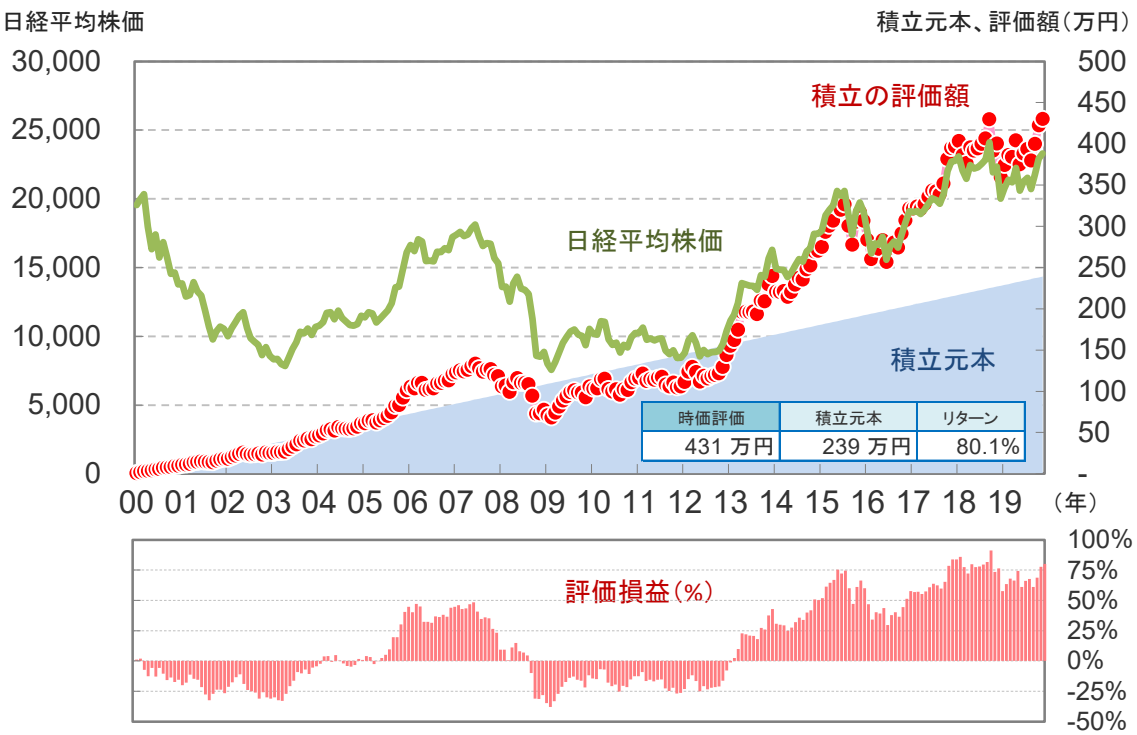
2019年 12月

投信積立の秘訣は“途中でやめないこと”

下図は日経平均株価にITバブルピークの2000年1月末から2019年11月末まで毎月1万円を積立投資した場合のシミュレーションです。積立対象である日経平均株価はスタート時の約2万円から下落したのち、19年間かけて、ようやく当初から約2割程度（約23,000円程度）まで上昇しました。しかし、この期間ずっと続けてきた投信積立の評価額はなんと80.1%のプラスでした。

「積立対象が2割程度しかあがってないのに、積立したものは8割もあがっている。」これが投信積立の凄さです。今までの累計の積立元本239万円を、もしスタート時に一括で投入していたら、当然2割程度しか増えていません。しかし、239ヵ月買い続けてきた結果、評価額は80.1%も増加しています。その秘訣は下落した時に途中でやめなかったこと。それにより、安い値段で口数をしっかりと溜め込むことができ、溜め込んだ分が、その後の上昇時に大きく花開いているのです。

毎月1万円を日経平均株価に投資した場合のシミュレーション



日経平均株価の月末終値に積立投資を続けた場合の時価評価（税金・手数料を考慮せず）の推移を示したシミュレーションであり、積立投資が必ず利益があがることを保証するものではありません。期間：2000年1月31日～2019年11月29日
信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託の仕組みについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

こよみ

コールセンターからの小さなよみもの

積立投資は“下がっても嬉しい仕組み”

投信積立は株式のような値動きの大きい資産を対象にするのに向いていると言えます。もちろん値動きが大きければ、どこかで一度は元本割れを経験することもあるでしょうし、ハラハラドキドキしたり、ストレスが溜まることもあるかもしれません。しかし、 大切なことは「投信積立は下がっても嬉しい仕組みなんだ」、「上がるのは積立元本がしっかり溜まってからでいい」とばかり、悠々と続けることなのです。

始める時は“覚悟をもって本気の積立”で

投信積立で資産を増やすためには「積立金額を増やすこと」も大切です。積立金額を1万円ではなく5万円にしたのが次ページのグラフです。グラフの形は1万円で積立投資したものと同じになりますが、5万円の場合、積立元本は1万円の239万円に対し、1,195万円と大きくなります。そしてこの期間の時価評価は2,153万円と2,000万円を超えるまでになりました。

毎月5万円の積立を継続するのは簡単なことではないかもしれません。しかし、スタート時点で真剣に考えて自分にとっての「本気の積立」で金額を設定し、踏ん張って継続した結果、2,000万円を超えるほどの金額になれば、色々な選択肢が選び取れます。

投信積立は少額から始めることができるので、「積立てはとりあえず1万円から」とよく言われますが、日興アセットはとりあえずではなく真剣に考えて「本気の金額で」ということをお勧めします。

One Point ！

与党が12月12日に決定した「2020年度税制改正大綱」では、
NISAの拡充・見直しが盛り込まれました。
「つみたてNISA」は投資可能期間が5年間延長されました。
「一般NISA」については投資初心者向けの仕組みが導入されます。
どちらも長期の資産形成をめざす仕組みとして活用できそうですね。

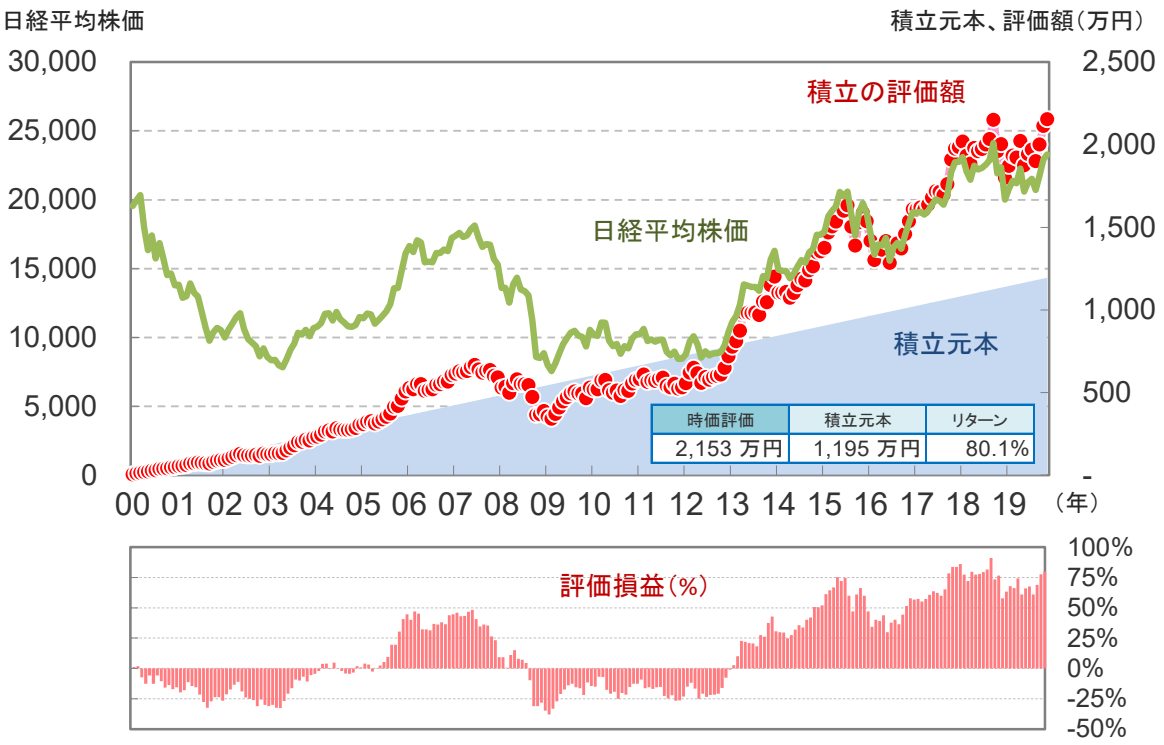
当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託の仕組みについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

こよみ

コールセンターからの小さなよみもの

2019年 12月

毎月5万円を日経平均株価に投資した場合のシミュレーション



日経平均株価の月末終値に積立投資を続けた場合の時価評価（税金・手数料を考慮せず）の推移を示したシミュレーションであり、積立投資が必ず利益があがることを保証するものではありません。期間：2000年1月31日～2019年11月29日
信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。

nikko am
コールセンター
0120-25-1404
営業時間　平日　9:00～17:00

当資料は、日興アセットマネジメントが投資信託の仕組みについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。